

知財を活かしたビジネスを実現する戦略と体制構築

会社名 株式会社マイクロサポート
 所在地 静岡県静岡市駿河区敷地1-3-19
 従業員 11名
 資本金 1,000万円
 売上高 5億円
 業種 分析用マイクロサンプリング機器の
 設計開発・製造・販売



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 既存事業では、マイクロマニピュレーターおよびアクセサリーの製造販売を主軸としている。
- 今後、新製品投入および海外展開に取り組み、新たな事業の柱を構築していきたい。

支援を受けて出来るようになったこと

After

- 経営デザインシートを活用し、既存事業の強化および新事業構想の具体化を図るとともに、それに連動した知財戦略を策定することができた。
- 営業秘密管理の契約等、戦略の基盤となる仕組みについても整備することができた。

今後の事業展開の展望

Future

- 経営デザインシートを活用して構想した将来像の実現に向けて事業活動を進めていく。
- 今後の事業発展に必要な知財活動(出願、営業秘密管理、的確な契約締結)等を実行へと移していく。

重点支援を受けた事業や商材



【出典】株式会社マイクロサポートWEBサイト
<https://www.microsupport.co.jp/>

当社は分析用マイクロサンプリング機器の設計・製造・販売を行っている。特に、顕微鏡下で微小試料をハンドリング・加工するためのマイクロマニピュレーター及びそれに取り付けて使用するアクセサリーの製造・開発に取り組んでいる。

主に電子部品や材料メーカーの品質管理部門で、分析装置に載せる前の試料のサンプリング作業のために使用されたり、液晶パネル内の微小な異物の発見などに使用されることが多い。

重点支援を実施するにあたって整理した課題



取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業戦略の策定	既存事業および新事業の強化・進展に向けて、知財の棚卸や外部環境の整理を十分に実践できておらず、対策が必要な状況である。
知財戦略の策定	事業戦略を再整理しながら、それを支える知財戦略についてもあわせて検討しておく必要がある。
契約体系の整備	新事業を進めていくにあたり、現状の契約内容を整理しつつ、的確な契約を締結できるような仕組みづくりが必要な状況である。
営業秘密管理体制構築	必ずしも全社的な知財意識が高いとは言えない状況であり、今後の事業展開に向けて全社一体となって知財意識を高めていく必要がある。
海外展開	海外市場拡大を視野に入れ、現段階から留意点を把握しておく必要がある。

重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
経営デザインシート策定	<ul style="list-style-type: none"> 経営デザインシートを活用し、既存事業の強化および新事業のビジネスモデル検討等の観点で整理できた。 	中小企業診断士
知財戦略構築	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業、新事業に関連する知財を棚卸できた。 オープンクローズ戦略等、事業戦略に資する知財戦略の考え方を把握できた。 	弁理士
契約検討	<ul style="list-style-type: none"> 契約に際して知財面等から重要となる論点をタームシートとして整理できた。 	弁護士、海外知財PD
知財体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 営業秘密管理規程を策定できた。 策定した規定をもとに全社説明会を実施し、全社的な知財意識を高めることができた。 	知財戦略AD

支援チーム紹介

リーダー専門家:弁理士・技術士 林 茂則

活用専門家:弁理士、中小企業診断士、弁護士、知財戦略AD、海外知財PD

知財総合支援窓口担当者:静岡県知財総合支援窓口 宮枝 清美

PO(プログラムワーカー):池田 清志